

精神保健福祉に関する制度とサービス

問題 61 次の記述のうち、「精神保健福祉法」に規定される精神科病院の管理者の役割として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 入院者からの退院請求に対し、その者の入院継続の要否を審査する。
- 2 措置入院者に自傷他害の恐れが消失した場合、直ちに、その者を退院させる。
- 3 医療保護入院を行う場合、その旨を本人に書面で知らせる。
- 4 入院者に対して、行政機関の職員との面会を制限する。
- 5 都道府県知事に対して、医療保護入院者の入院届を出す。

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 62 ひきこもり地域支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ひきこもりに関する家族からの相談は対象外である。
- 2 ひきこもり支援コーディネーターを置く。
- 3 「精神保健福祉法」に基づき設置されている。
- 4 ひきこもりの支援対象の年齢は15歳から49歳までである。
- 5 連絡協議会の設置が義務づけられている。

問題 63 医療保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 75歳以上の高齢者等は、他の医療保険から独立した公的医療保険に加入する。
- 2 国民健康保険の保険者は、国である。
- 3 医療保険は、現金給付ではなく現物給付である。
- 4 居宅サービス計画に基づく訪問看護の費用は、医療保険から支払われる。
- 5 高額療養費の自己負担額は、一律に設定されている。

問題 64 次のうち、市町村長が指定するものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 応急入院させることができる医療機関
- 2 地域相談支援を行う事業者
- 3 発達障害者支援センター
- 4 精神保健指定医
- 5 計画相談支援を行う事業者

問題 65 次のうち、自殺総合対策大綱に示された取組により養成される、見守り等の役割を担う人材として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ゲートキーパー
- 2 コミュニティソーシャルワーカー
- 3 ペアレントメンター
- 4 ピアスタッフ
- 5 カウンセラー

問題 66 地域生活定着支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 利用には、精神障害者保健福祉手帳の所持が要件となる。
- 2 職員の配置においては、精神保健福祉士が必置となっている。
- 3 支援は、矯正施設出所後に開始される。
- 4 設置は、各市町村に1か所となっている。
- 5 整備は、厚生労働省が所管する事業により進められている。

問題 67 保護観察所に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 未成年者の保護観察は対象外である。
- 2 犯罪予防のための普及啓発を行う。
- 3 精神保健観察を行う。
- 4 刑事施設の仮釈放を決定する。
- 5 更生保護施設を併設する。

問題 68 医療観察制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「医療観察法」の目的は、対象者の社会復帰の促進である。
- 2 対象となる重大な他害行為には、恐喝が含まれる。
- 3 審判による処遇の決定は、精神保健指定医2名以上の診断に基づき行われる。
- 4 精神保健審判員には、精神保健福祉士が任用される。
- 5 入院処遇は、急性期、回復期の2段階に分けられる。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 69 精神科病院に勤務する J 精神保健福祉士は、栄養士と共同の発案で、糖尿病を合併している統合失調症の患者に対する 6 か月間の運動・栄養指導の評価プログラムを、説明と同意の上で実施することとした。プログラムの開始前と終了時（6 か月後）の 2 時点において、ID を付したプログラムへの参加者 50 名の空腹時の血糖値を測定した。参加者における 2 時点の血糖値の平均値に、統計的有意差があるかを検証するために、統計的手法を用いた。

次のうち、用いた統計的手法として、適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 相関係数の算出
- 2 因子分析
- 3 リッカート法
- 4 対応のある t 検定
- 5 カイ二乗検定

(精神保健福祉に関する制度とサービス・事例問題)

次の事例を読んで、問題 70 から問題 72 までについて答えなさい。

[事 例]

Kさん(50歳、女性)は80代の両親と同居していたが、母親の死をきっかけに統合失調症が悪化し、幻聴や妄想の出現により父親に対する暴言が顕著となった。Kさんの様子を心配した父親は、Kさんが通院している精神科病院に受診させた。Kさんは入院を拒んだが、父親が同意しKさんは入院した。担当のL精神保健福祉士は、Kさんの気持ちを受け止めながら、自らの役割などをKさんに丁寧に説明した。

Kさんの入院後、父親が介護保険の利用を開始するなど、生活環境は大きく変化し、またKさんの症状が残っていることから入院期間は1年となってしまった。主治医はKさんの入院継続の必要性を認め、Kさんも入院の継続に同意した。(問題 70)

入院から1年半後、主治医から退院に向けた今後の治療方針の説明がなされた。L精神保健福祉士は、Kさんと父親双方の今後の生活について丁寧に話を聞いた。父親はKさんの面倒を見ることに限界を感じていた。またKさん自身は、一人暮らしを希望していた。そこでL精神保健福祉士は、退院に向けて「障害者総合支援法」に規定される地域相談支援サービスの活用を提案した。Kさん、父親も同意したことから、L精神保健福祉士はそのサービスを提供するX事業所のM精神保健福祉士と連携し、アパートの体験利用を実施した。(問題 71)

退院後のアパートでの生活を継続するための話し合いをKさん、父親、L精神保健福祉士及びM精神保健福祉士とで行った。Kさんからは、定期的な巡回訪問や随時の相談を受けて欲しいとの希望が出された。そこで「障害者総合支援法」に基づく別のサービスの利用の検討を行った。(問題 72)

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 70 次の記述のうち、この時点でのKさんの入院形態の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 審判期日によって入院が決定される。
- 2 入院には家族等の同意を必要とする。
- 3 精神保健指定医による退院制限は72時間を限度とする。
- 4 都道府県知事の権限によって入院させる。
- 5 入院には精神保健指定医1名の診察を必要とする。

問題 71 次の記述のうち、X事業所が提供する地域相談支援サービスの説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 おおむね週に1回以上の支援を行う。
- 2 都道府県に支給申請を行う。
- 3 障害支援区分の認定を必要とする。
- 4 支給決定の有効期間は3年である。
- 5 福祉事務所が作成する支援計画に基づき実施される。

問題 72 次の記述のうち、このサービスに関する説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 標準利用期間は6か月となっている。
- 2 サービス等利用計画の作成を必要とする。
- 3 宿泊型の訓練を実施する。
- 4 就労定着支援との併給ができる。
- 5 介護給付に基づくサービスである。